

複数施設の 情報連携強化 のご提案

経営基盤強化

社会福祉法人 芳洋会 様

複数施設の連携強化により、業務改善やコスト削減、
従業員の意識改革が実現できました。

理事・ゼネラルマネジャー 神田明啓 様

社会福祉法人 芳洋会様は1972年の設立以来、「安心と充実の人生をご一緒に」を理念に、快適かつ自然な生活を送ることのできる特別養護老人ホームをはじめ、ショートステイやデイサービス、小規模多機能型居宅介護施設の運営から、居宅介護支援事業、訪問介護員養成研修事業まで、幅広い福祉事業を展開。2012年11月には、5施設目となる特別養護老人ホーム「サンライズ大泉」を練馬区にオープン。これを機に、複数施設の情報連携強化に取り組まれました。



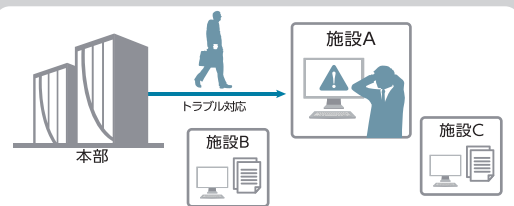
Company Profile

法人名：社会福祉法人 芳洋会
所在地：東京都西多摩郡日の出町平井3076
従業員数：205人(2013年3月現在)
主な業務：第一種社会福祉事業(特別養護老人ホーム)
第二種社会福祉事業(ショートステイ、デイサービス、
小規模多機能型居宅介護支援事業)、公益事業 等
URL：http://www.h-sunrise.com

課題

- 施設ごとに入所者対応情報を管理しているため、
1 情報共有ができず、サービス品質がバラつく。
職員間の申し送りの漏れやミスが発生し、
- 2 再確認などの手間や時間がかかる。**
システム障害のたびにシステム管理者が
- 3 各現場に出向くのに時間も費用もかかる。**

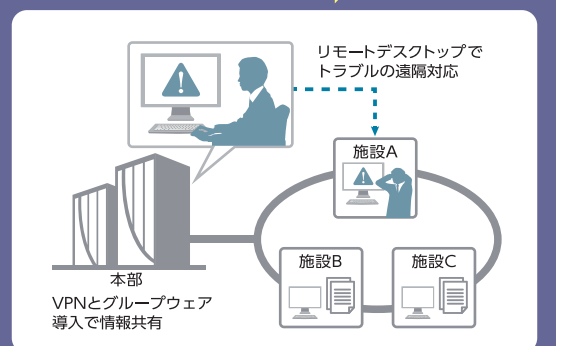
施設ごとに情報管理・移動を伴う障害対応



効果

- 1 インターネットVPNで施設間をつなぎ安全かつ効率的な情報共有を実現。**
(各施設相互に学び合う姿勢が生まれる)
- 2 グループウェアの有効活用により情報伝達が正確・簡単にできるようになった。**
- 3 リモートデスクトップを活用し、システム管理者が本部にしながら障害対応可能。**
(業務効率アップ)

情報共有と遠隔操作による
スピーディーな障害対応を実現





■ 導入の背景

遠方での施設開所を機に、
複数施設の連携を高めるとともに、
システム管理コストを削減できる
環境整備を行いたかった

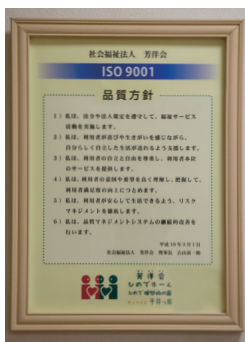
2000年の介護保険制度導入以来、多様な事業主体の参入や、福祉サービスを提供する仕組みの多くが利用者と事業者の契約制度になるなど、社会福祉法人を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした中、社会福祉法人 芳洋会様は1990年代には全国に先駆けて各事業所にパソコンを導入。2006年にはISO9001を取得するなど、新しい福祉経営の確立に積極的に取り組んでこられました。

芳洋会理事・ゼネラルマネジャーの神田様は改めて芳洋会様の使命について、「さらなる高齢化や社会状況の変化が予測される中、自律的な法人経営を健全かつ適性に行うとともに、福祉サービスの質的向上と量的拡大を図り、社会貢献力を高め続けることが我々の使命といえます」と語って下さいました。

芳洋会様は2011年、東京都練馬区での新規施設開設の指定を機に、より一層のサービス品質向上へ向けた経営基盤強化をご検討されることになりました。

「従来は西多摩郡内の出町エリア内に各施設が集まっていましたが、エリア拡大に伴い、①本部・施設間の情報連携の強化、②連絡・申し送りの漏れやミス削減を含む業務改善の推進、③システムトラブル時の移動コスト低減とスピーディーな対応の実現、という3つのビジョンに向けた環境を整備したいと考えました」と総務部総務課サブマネジャーであり、システム管理者の嶋田様は導入時点の方針を説明されました。



■ 選定のポイント

事業拡大やリスクをふまえた
“あるべき姿”の提案が決め手

リコージャパンの提案をご選定いただいた理由について、嶋田様は「長いおつきあいの中で、福祉業界や業務のことも、当施設のことも、非常に深くご理解いただいているところに魅力を感じました」と振り返られます。また、神田様は次のように話されます。「ご相談した内容に対する解決策の提案のみならず、ネットワーク機器の配置見直しやプリンターの集約による出力コストの削減、相互サーバーへのバックアップによるBCP対策の実施など、将来の事業拡大やリスクを見据えて、今、当法人が実施すべき経営基盤強化のあるべき姿をご提案いただけたことが決め手でした」

■ 導入の効果

VPNとサイボウズにより、
情報共有の進化を実現、
職員の意識改革も促す

「本部にFTサーバーを設置し、施設間をインターネットVPN(*1)でつなぎデータを一元管理できるようになりました。また、グループウェア[サイボウズガルーン(*2)]の活用範囲が広がったことで、情報共有が促進され、連絡や申し送りが正確かつ迅速に行われるようになりました(*3)。さらに各施設の取り組みの良いところを学びあう姿勢も加速されてきました。最近では、現場主体の業務改善活動が促されている手応えも感じています」(神田様) 「各施設のシステム障害や問い合わせに対して、本部からリモートデスクトップを活用して

遠隔操作で対応できることは画期的です。実際、システム管理者である私が現地へ向かう回数はゼロになりました。新施設の大泉からの障害対応の依頼はまだありませんが、本部から大泉までは自動車で行って2時間程度かかりますから、今後の利便性も考えれば、今回の環境整備の効果は計り知れないと思います」(嶋田様)

この他にも、今回の環境整備の取り組みが先進的な事業者としてのブランド形成となり、優秀な人材獲得促進や、多摩地区におけるオピニオンリーダーとしてのPRにもつながっているとのことでした。



■ 今後の取り組み

自治体様や利用者様、ご家族様、
そして求職者様からも
選ばれる存在を目指して—

「今後もより一層の社会貢献を目指して、[サービスの量的拡大と質の向上による利用者増]と[優秀な職員の獲得と育成]に注力していきます。そして、自治体様や利用者様、そのご家族様、求職者様からも[選ばれる存在]であり続けたい」と神田様は話されます。そしてリコージャパンには、「業界や業務に対する深い知見を活かして、我々がより一層本業に注力していくためのアウトソーシングサービスなどもご提案いただきたい」と期待を込めて語って下さいました。

導入システムサービス

(*1) NETBegin
BB/バック Select (リコー)

インターネット環境の導入から訪問保守までワンストップでご提供する安心、安全なサービス。

(*2) CybozuGaroon
(サイボウズ社製)

「サイボウズ ガルーン」は、日々の業務に欠かせない全社の情報共有基盤としての役割はもちろん、部門や拠点間の垣根を越えたコミュニケーションを促進し、議論を深め、チームの力を最大限に引き出す機能を備えています。

(*3) ほのぼのNEXT
(NDソフトウェア社製)

より使いやすく、よりやさしいシステムへ。ほのぼのNEXTは介護事業所の業務を全面サポート!介護保険関係の業務処理に完全対応です。



オンラインショッピングはもちろん、リコー機器の活用サポートや業務効率化支援を含めた、総合インターネットサービスです!

<http://www.netricoh.com>

